

# イーハトーブ



岩手学習センターマスコットキャラクター  
テレビくん&アンテナさん

## 206号 (2026年5月)

### <イーハトーブ206号目次>

客員教員から	.....	P 1
学位記授与式	.....	P 2~4
新任の先生方よりご挨拶	.....	P 5
事務室からのお知らせ①	.....	P 6
事務室からのお知らせ②	.....	P 7
面接授業の追加登録等について	.....	P 8
システムWAKABAについて	.....	P 9
講演会及びWebサイトのお知らせ	.....	P 10
教務スケジュール	.....	P 11

### 放送大学 岩手学習センター

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8  
(岩手大学構内)

TEL : 019 (653) 7414 FAX : 019 (653) 7410

ウェブサイト : <https://www.ouj.ac.jp>

岩手学習センター : ウェブサイト

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/iwate/>

水沢校 : 水沢地区センター 1階

〒023-0063 奥州市水沢聖天85-2

TEL : 0197 (23) 3165

釜石校 : 青葉ビル 1階

〒026-0024 釜石市大町3-8-3

※釜石校を利用する際は事前に予約が必要です。

予約先 TEL : 0193 (27) 8454

(釜石市市民生活部まちづくり課)

二戸校 : 二戸市立図書館 3階

〒028-6103 二戸市石切所字狼穴1-1

TEL : 0195 (23) 3447

### 機関誌「イーハトーブ」の由来

‘イーハトーブ’とは、宮沢賢治による造語であり、岩手のことをエスペラント語風に美しく名詞化したものです。

賢治の考えるイーハトーブとは、田園の風と光に満ちたドリームランドで、不思議な楽しい国土として賢治の心象中に実在し、そこから詩や童話としての心象スケッチが生み出されました。

このようなドリームランドを当学習センターでも実現させたいと思い、機関誌の名称を「イーハトーブ」と命名しました。





音喜多 信博 先生

OTOKITA NOBUHIRO

岩手学習センター客員教員 / 岩手大学教授  
〔専門分野 / 哲学・倫理学〕

## 人工知能 (AI) は「心」をもてるのか？

みなさんは、ChatGTPやGeminiなどの生成AIを使っていますでしょうか。大規模言語モデル (LLM) の近年の急速な発展により、少なくとも書き言葉によるチャットのレベルでは、人間とAIの区別をつけることは難しくなってきました。そのため、そのうちにAIが「心」や「意識」をもつようになるのではないかと、という議論が盛んにおこなわれています。

もしかしたら、みなさんは、「機械が心をもつことなどあり得ない」と思われるかもしれませんが。しかし、ここでは一歩立ち止まって考えてみたいと思います。

まず、人間もコンピュータと同様のところはないか考えてみましょう。現代の科学に従うならば、「心」や「意識」を生み出しているのは人間の脳の無数の神経細胞 (ニューロン) です。ニューロンは主としてタンパク質でできていますが、それが発火するかしないか (0か1か) のパターンで情報を生み出します。一方、コンピュータのCPUのシリコンのチップも、そこに電気が流れているかいないか (0か1か) のパターンで情報を生み出します。物質である人間の脳が「心」「意識」を生み出せるのであれば、(材料は異なるものの) 物質であるコンピュータが心や意識をもつことは絶対にないと言えるのでしょうか。

もうひとつの論点があります。私たちは、自分の内面を振り返って、自分には意識があると思っていますが、他人が意識をもつかどうかは、どのようにしてわかるのでしょうか。実は、私たちは直接に他人の内面について知ることはできません。その人自身にならなければ、その人が「心」「意識」をもっているかどうかは厳密にはわかりません。つまり、私たちは、他人の言動や立ち振る舞いを外側から見ることによって、その人が「心」「意識」をもっていると、いわば推測しているのです。

とすれば、今後、身体の状態のうえでも立ち振る舞いのうえでも人間とまったく区別がつかないアンドロイド (ヒト型ロボット) が開発された場合、私たちは、そのロボットに「心」を認めたくるのではないのでしょうか。もしそうだとすると、人間と同じような「心」をもつロボットを殺したり傷つけたりすることは許されず、ロボットにも権利 (人権ならぬロボット権) を認めるべきであるということになるのでしょうか。

私自身、AIが心や意識をもつようになると簡単には認めたくありません。それでは、人間はコンピュータとどこが違うのでしょうか。機械には人間のような「心」をもてないと主張できるとすれば、それはなぜでしょうか。こうした議論は、単なるSFの世界の話と思われるかもしれませんが、実は1970年代くらいから、将来のコンピュータ技術の発展を見越して、哲学者たちが盛んに議論してきたテーマでもあります。

人工知能は、私たち人間を映す鏡のようなものです。私たちは、人間の知性を機械で模倣しようとして試みるなかで、逆に「人間とは何か」「人間の心や知性とは何か」ということを真剣に問い直さなければならない時代に入ったのです。

# ご卒業・修了おめでとうございます

2025年度第2学期岩手学習センターからは、  
教養学部30名、修士課程2名が卒業・修了されました。  
教職員一同心よりお祝い申し上げます。



～学位記授与式に出席された卒業生の方々～

修士【人間発達科学プログラム】 1名  
【社会経営科学プログラム】 1名  
大学院 計 2名

学部【生活と福祉コース】 6名  
【心理と教育コース】 7名  
【社会と産業コース】 5名  
【人間と文化コース】 6名  
【情報コース】 2名  
【自然と環境コース】 4名  
学部 計 30名

岩手学習センター所属の卒業生・修了生の累計は、2025年度第2学期卒業・修了の方々を含めて、卒業生1,428名・修了生51名(修士課程50名・博士課程1名)となりました。

## 2025年度 放送大学学位記授与式

本部主催学位記授与式が3月20日(金・祝)にベルサール高田馬場で開催されました。

センター主催の学位記授与式とは別日程で行われ、卒業生・修了生が全国から一堂に集まりました。

岩手学習センターからも卒業生・修了生が出席されました。

3～4ページに、卒業生・修了生の方々からいただいたメッセージを掲載しています。



# 卒業生・修了生の皆さんからのメッセージ

山下 千佳 さん

－社会経営科学プログラム－

「生きることは学ぶこと」を生涯大切にしていきたいと思います。働きながらも、ゼミの仲間、指導教員、やさしい放送大学のスタッフの皆さんのおかげで修士課程を修了することができました。日本に、そして岩手に放送大学があることに感謝です。  
Living is Learning!

岩手学習センターありがとう さん

－心理と教育コース－

3年前、放送大学に編入学し、今日「心理と教育コース」を卒業することができました。仕事や子育てとの両立をしながら学ぶことは大変でしたが、とても有意義な時間でした。面接授業では盛岡と仙台で心理学実験に参加し、家族にも協力してもらい無事終えることができました。学ぶことが楽しく、また継続入学しましたので、よろしくお願いします。

寺舘 正勝 さん

－生活と福祉コース－

興味のある学問でなくても勉強することは生きていくことに役に立つと思う。

高橋 玲 さん

－心理と教育コース－

単位のためにつけ足で学習した自覚があるので、卒業しても学びを深めていきたいです。

佐藤 春美 さん

－生活と福祉コース－

在学中は大変お世話になりました。ありがとうございます。看護師免許取得のための入学でした。新型コロナウイルスの感染拡大により、中断した時期もありましたが、無事に卒業することができました。看護学士取得後、後期より再入学し、グランドスラムを目指したいと考えています。これからも学び続けていきます。

田中 幸雄 さん

－社会と産業コース－

知らないから知りたい。知りたいから学びたい。その思いが残り1コースになりました。「自然と環境」楽しみにしています。

八重樫 光子 さん

－心理と教育コース－

長い19年でした。最初は卒業できるとは思っていませんでした。少しずつでも前に進むと、あきらめなかったのが良かったと思います。ありがとうございました。

M・M さん

－人間と文化コース－

二度目の卒業になります。博物館学全般をじっくり学ぶことができ、博物館巡りが楽しくなりました。再入学したので、今後もよろしくお願いします。

M・T さん

－心理と教育コース－

大変有意義な楽しい学生生活でした。これからもまた新たに勉学に励みたいと思います。

菊地 泰乃 さん

－人間と文化コース－

入学8年で卒業できました。人間と文化コースは歴史好きの私にとって楽しく勉強することができました。今日卒業式を迎えることができ、とてもうれしいです。次は社会と産業コースです。学ぶことにワクワクしています。

皆様のご活躍を  
お祈りいたします!



## 坂本 裕克 さん

－情報コース－

4回目の卒業です。生命あるうちに全て卒業したいものです。知見を広げることは幸せなことです。

## 大沼 恒夫 さん

－自然と環境コース－

放送大学に入学して32年になりました。卒業の感激は薄れてきました。目指すはグラนด์スラムではなく、全科履修生として長く在籍することです。

## 武蔵 育子 さん

－情報コース－

興味を持って何かを始める積極性はあるのですが、何をやっても長続きしませんでした。しかし放送大学は続いています。今回5コース目を修了できました。関わってくださった皆様に感謝致します。

## 高橋 健 さん

－自然と環境コース－

ご自身のペースで受たい授業を申請して教養をどんどん上げて行って下さい。面接授業がとても興味深く面白いですから、ぜひ受けてほしいです。

# グラนด์スラム達成 おめでとうございます！！

放送大学岩手学習センターでは、この度新たにお1人の方がグラนด์スラム※を達成されました。メッセージをいただきましたのでご紹介いたします。

なお、岩手学習センターにおいて、現在グラนด์スラム達成者は計11名です。

視聴学習室には、名誉学生顕彰額を飾っております。

※放送大学のグラนด์スラムは、学部6コースすべての学位記を取得した学生を学長が講える名誉学生の称号です。



## 北田 友子 さん (2011年入学)

放送大学に在籍して14年半になるこの3月で全6コースを卒業となりました。前半の3コースは東京・文京学習センターに所属、後半の3コースは縁あって岩手学習センターでお世話になりました。岩手学習センターはひとりひとりを大切にいただける学習センターで、親切的な学友たちも多く、居心地のよい学生生活を送ることが出来ました。

最初に放送大学に入学したのは、諸事情で通えなくなってしまった韓国語講座の代わりに場として韓国語を独学以外で学ぶことが目的で、卒業はまったく頭にありませんでした。そんな私が全コースを卒業したのだから、人生は面白いものです。

放送授業や所属センターの面接授業だけでなく、興味のある授業があると遠くの学習センターの面接授業も積極的に受け、これまで半分ぐらいの学習センターに足を運びました。いつもとちょっと違う土地で受講する授業は、視野が広がりとても刺激になりました。特に苦手分野のコースでは、放送授業よりも面接授業をフル活用して単位を取得していきました。

「科目群履修認証制度(エキスパート)」取得に興味を持った時期、仕事が忙しくて受ける授業を減らさざるを得なかった時期、サークル活動やイベント参加で知り合った学友たちとよく遊んだ時期、遠征での面接授業にはまった時期……振り返ってみるといろいろありましたが、その時の自分の事情や気分に合わせて継続していくことが出来るのが、放送大学の大きな魅力だと思います。

今後もしばらくは選科履修生として学びを続けていきたいと思っていますので、引き続きよろしくお願いたします。

# 新任の先生方より

～ 4月から新たに2名の先生をお迎えしました～



**早坂 浩志 先生**  
岩手大学教授  
(保健管理センター)  
専門分野/臨床心理学

4月より岩手学習センターの客員教員に着任しました早坂と申します。

専門は臨床心理学で、岩手大学では保健管理センターという部署で学生の皆さんの悩み事の相談にのったり、教職員に学生指導に関する助言をおこなったりしています。私は放送大学とは縁がありまして、約20年前ほど前にも客員教員を務めさせていただきましたし、その後も2年に1度「カウンセリング実習」の面接授業を担当させていただいています。今回、こうしてこれまで以上に放送大学で学ぶ皆様と関わる機会をいただいております。どうぞよろしくお願いいたします。



**鈴木美代子 先生**  
岩手県立大学准教授  
(看護学部)  
専門分野/理論看護学

今年度より、皆さんと学ぶ機会をいただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

私自身、社会人の傍ら通信大学で長く学んだ経験があり、多様な社会背景をもち、志を共にする仲間と一緒に学んだ経験は、今も揺るぎない土台を築いています。

「知」には様々な形がありますが、マイケル・ポランニーは、人間の経験や感覚などに基づいて主観的で言葉で表現し難い知識を「暗黙知」として概念化し、それにはいくつか次元があることで、私たちが周りの世界を理解し、発見、創造しながら自らの知識を拡張していくプロセスについて理論的に説明しています。

皆さんの豊かな経験に基づく「知」が仲間との対話を通して発見、共有され、客観的で伝達可能な「形式知」と結びつきながら、新たな知が創造されるプロセスと一緒に学び合えることを楽しみにしております。



# 事務室からののお知らせ 1

## Web 通信指導 について

重  
要

Web通信指導を提出し、合格しなければWeb単位認定試験を受験できません。  
期日までに必ず答案を提出してください。

原則Web通信指導による提出（郵送提出科目を除く）となりますので、  
問題冊子の送付はありません。 ⇒Webによる提出が困難な場合※1

〈Web〉※評価対象となるのは1回目の提出のみ。

5月7日(木)10時 ~ 5月27日(水) 17時

〈郵送〉※郵送提出科目、Webによる提出が困難な場合に限ります。

5月13日(水) ~ 5月27日(水)【本部必着】

各科目の出題形式  
は「授業科目案内」  
で確認



- ▶ Web通信指導 問題閲覧方法・・・システムWAKABA→授業サポート→授業共有ファイル
- ▶ Web通信指導 提出方法・・・システムWAKABA→学内リンク→Web通信指導
- ▶ Web通信指導 提出状況確認・・・Web通信指導画面で、各科目の欄内に「提出済」と表示

※1

自宅等にインターネット環境がない、またはパソコン等電子機器の操作が困難等の事情により、Web通信指導による提出が困難な方は、4月15日時点で単位認定試験の受験場所を学習センターにしている場合に限り、4月下旬に問題冊子を送付（印刷教材とは別に発送）しています。受験場所が「自宅等」になっている方が郵送提出を希望する場合は学習センターまでお問合せください。

※通信指導に関する詳細は、学生生活の菜<通信指導>のページをご覧ください。

\* 2025年度第2学期に登録した科目で通信指導を未提出、または不合格だった方 \*

今学期に限りWeb通信指導を提出することで、単位認定試験の受験資格を得られます。

## 学生証の受取はお済みですか



学生証は、写真票を提出しシステムWAKABAに登録された上で、学習センターから発行されます。

写真が未提出の方は、システムWAKABAの「学生カルテ」から直接顔写真を登録するか「学生生活の菜」の巻末の写真票（システムWAKABAからダウンロードもOK）で、お早めに本部学生課へ提出願います。

郵送をご希望の方や、遠方にお住まいの方は、岩手学習センターまでお問い合わせください。学生証は、学習センター利用時に必携となります。

学生証の受け渡しは、入学許可書の提示、または古い学生証との交換になりますのでご持参ください。

# 事務室からのお知らせ ②

## Web単位認定試験のための **パソコン操作体験会** について

下記の日程で開催しますので、ご希望の方は、お電話等にてご予約の上、開始時間までに会場にお越しください。

【日時】 **7月4日(土)・7月9日(木)** 各日 13:30~14:30

【会場】 岩手学習センター 4階(実習室)

【定員】 各回 5名

※複数回ご参加いただいても構いません。(空きがある場合)

※都合により日程に変更が生じる場合があります。

※上記日程で都合がつかない方は、岩手学習センターまでお問い合わせ願います。

**注)**ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコン操作に不安がある等のご事情により、学習センターにてWeb受験を希望する方は、必ずご参加ください。

なお、ご自宅等にて受験予定の方でもご参加いただけます。

**重要**

Web単位認定試験について学習センターでの受験を希望する場合は、以下いずれかの方法で受験場所の変更手続きをしてください。

【申請方法】 **1. システムWAKABAで変更手続き**

「教務情報」→「変更・異動手続」→「単位認定試験受験場所変更」

**2. 単位認定試験受験場所変更願(学生生活の葉 巻末様式15)を郵送提出**

受付期間は【4/1(水)~5/27(水)】です。

※変更手続きについて詳しくは学生生活の葉<単位認定試験>のページをご確認ください。

現在、「**Web単位認定試験体験版**」が利用可能です

受験に使用する予定の端末からシステムWAKABAにログインし、2026年度第1学期単位認定試験前までに必ず体験版の操作を行ってください。

ゲスト用でも体験できます⇒



システムWAKABA

# 2026年度 第1学期 面接授業科目の追加登録について

追加登録できる期間は、それぞれの科目の開講日の**1週間前まで**となります。

(満席や、授業準備の関係で追加登録を1週間前まで受け付けられない科目もありますのでご了承ください。)

- 追加登録の手続き方法は「利用の手引」27～28ページでご確認ください。
- 対象者は2026年度第1学期に教養学部在籍する学生(特別聴講生は除く)です。
- 各科目の空席数・追加登録受付期限日は、岩手学習センター3階の教務掲示板やシステムWAKABAで確認、または事務室へお問い合わせください。
- 授業日時、授業会場等詳細は『2026年度第1学期面接授業時間割表』をご覧ください。時間割表をお持ちでない方は岩手学習センターへご請求ください。



2026年 1学期  
面接授業時間割表  
北海道・東北版

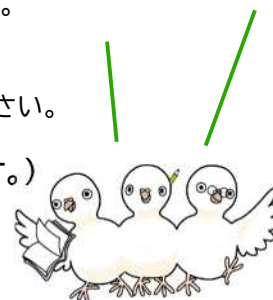


～2025年度第2学期の面接授業の様子です～

## 『共修生』制度のご案内 —“放送大学”で大学の授業を体験してみませんか—

面接授業は、本来教養学部在籍し科目登録を行った学生だけが受講できるものですが、生涯学習環境のさらなる充実を図るため、正規に科目登録した学生以外＝「共修生」にも聴講の機会を拡げることとなりました。空席のある科目に限り受け付けますので、対象科目および募集期間・申請方法等の詳細は事務室へお問い合わせください。

- 「共修生」として聴講できる方
  - 本学学生(正規登録者以外の教養学部生、および大学院生)  
教養学部生は「共修生」として、以前受講した科目を再受講することも可能です。  
但し、単位の修得はできません。
  - 本学の学籍を持たない一般の方 ぜひ、ご家族や友人、知人にご紹介ください。
- 受講料は6,000円/1科目です。(手数料として200円/1科目も必要です。)
- 受講の際は、8回全ての時限に出席することを原則とします。
- 単位の修得、認定証等の発行はできません。



教養学部生で単位修得を希望される方は、追加登録にてお申し込みください。

# システムWAKABA

ご利用ください



放送大学ウェブサイト → 「在学生(WAKABA)」 → 「システムWAKABA(教務情報システム)」 → ログイン

## 放送大学ウェブサイト

### > 在学生(WAKABA)



### システムWAKABA (教務情報システム)

## システムWAKABA



放送授業の  
インターネット配信

Web通信指導

Web単位認定試験

過去の単位認定試験  
問題・解答等

オンライン授業

面接授業(第1学期)  
のページ

パスワード変更

学生カルテ

変更・異動手続

### 初回ログイン時について

必ずご確認ください!

初回ログイン時は必ずパスワードの変更を行ってください。  
初期パスワードが変更されていない場合、ログインすることができません。  
※初期パスワードは入学許可書に記載されています。

#### 〈初期パスワード変更方法〉

- ①左記QRコード
  - ②<https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet>
- ※上記①か②、またはシステムWAKABAログイン画面から変更操作を行ってください。



パスワードを変更してもログインできない場合、パスワードを初期化する必要がありますので、下記にご依頼ください。  
○学習センター Tel:019-653-7414  
○学生サポートセンター Tel:043-276-5111  
○教務課教務係e-mail:[kyoumuka@ouj.ac.jp](mailto:kyoumuka@ouj.ac.jp)

ロックアウトされた方や、パスワードを忘れてしまった方もこちらへお問い合わせください。

# 公開講演会 開催予告

<5月中旬頃に、岩手学習センターWebサイトに詳細を掲載の予定です>

ビッグルーフ滝沢キャンパス&放送大学岩手学習センター公開講演会 in たきざわ

共催 / 滝沢市教育委員会

9月5日(土) 第1部 / 10:30~12:00  
第2部 / 13:00~14:30

会場 / ビッグルーフ滝沢 小ホール  
定員 / 各回50名(先着順)  
対象 / 一般(中学生以上)

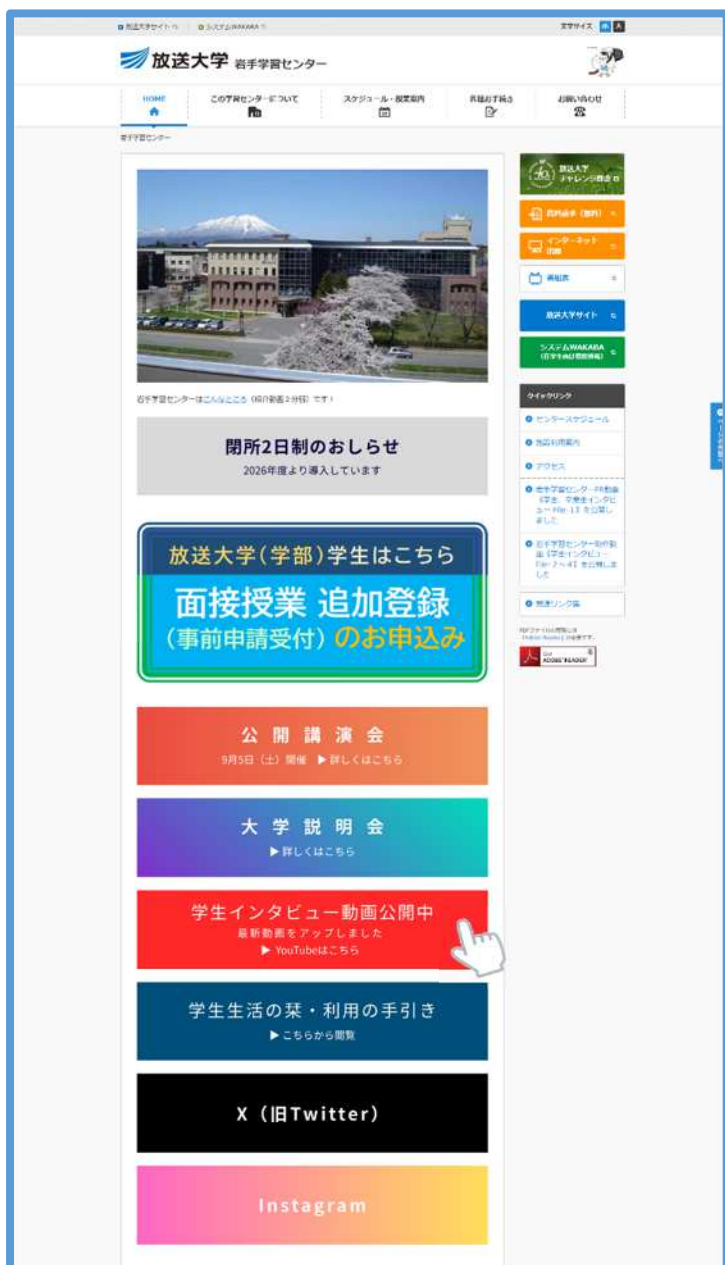
参加無料 事前申込みが必要です

講師  
深作 拓郎 先生  
岩手大学教育学部准教授  
専門分野  
社会教育学、こども(遊び)環境学

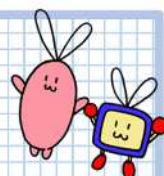


テーマ: 体験的・協動的な学びから新しい社会づくりへの一歩へ  
～ 遊び×学び×社会参画のすすめ ～

こどもの主体的な学びや成長を支える「遊び」に焦点を当て、講義と演習を通して理解を深めていく1日です



## 岩手学習センター Webサイトのお知らせ



■岩手学習センターでは、動画(学生・卒業生インタビュー)を続々公開中です。  
岩手学習センターのウェブサイトぜひご覧ください。

また、インタビューにご協力いただける方も  
随時募集中です！よろしくお願い致します！

■利用の手引き、学生生活の葉も掲載しています。  
■X(旧Twitter)、Instagramもやっています。

## ～ 職員の紹介 ～

岩手学習センターで職員の異動がありました。  
引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

所長	境野直樹
事務長	菅原潤
広報	報鈴宏美
教務	務及川裕子
学会	務川村真理
会計	務藤原孝至
総務	務武藤一恵

# 教務スケジュール



最新のスケジュール  
はこちらからご確認  
ください

ご注意ください

今年度より休所日2日制です！

休所日

○ 面接授業

□ 単位認定試験期間

5月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

- ◇ 1日(金) 夏季集中科目履修生(学校図書館司書教諭講習)出願受付開始  
~5月31日(日)本部必着
- ◇ 2日(土) 休所日  
~6日(水)
- ◇ 7日(木) (Web) 通信指導 受付開始<5月27日(水)17時まで>

## 5月の面接授業

- 9日(土)・10日(日)「認知症の人への支援」  
「農地における土壌水分の動き」
- 16日(土)・17日(日)「ロシア語入門」  
「市民生活と民法」
- 23日(土)・24日(日)「災害は忘れた頃にやってくる」
- 30日(土)・31日(日)「心理学実験3」



6月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

- ◇上 旬 卒業研究履修の手引 配布開始
- ◇10日(水) 2026年度第2学期教養学部生・修士選科生・修士科目生  
出願受付開始<第1回8月31日(月)まで>  
2027年度修士・博士全科目生入学者募集要項配布開始
- ◇中 旬 入学時既修得単位認定通知 送付
- ◇27日(土) 大学説明会(岩手学習センター) 10:30~

## 6月の面接授業

- 6日(土)・7日(日)「やさしく学ぶ超伝導と光触媒」
- 13日(土)・14日(日)「集中講義:フランス語初級」
- 20日(土)・21日(日)「健康情報の読み解き方」



7月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- ◇4日(土)・9日(木) パソコン操作体験会(Web単位認定試験用)
- ◇中 旬 次学期科目登録申請要項発送(次学期も学籍がある学生)
- ◇14日(火) ~22日(水) 単位認定試験期間<Web受験>
- ◇25日(土) 大学説明会(岩手学習センター)10:30~

## 7月の面接授業

- 4日(土)・5日(日)「宮沢賢治の言葉の宇宙」



### 【編集後記】

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます！また、在学生の皆さまは新学期を迎え、気持ちも新たにスタートされたことと思います。今年度もスタッフ一同、学生の皆さまをサポートさせていただきますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。(武藤)